

『マイナビ 2022 年卒大学生インターンシップ前の意識調査』を発表

6月までに約8割の学生がインターンシップに応募済み

44.8%が対面形式のインターンシップを希望し、対面・オンラインどちらでも構わないは38.5%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、2022年卒の学生を対象にした『マイナビ 2022 年卒大学生インターンシップ前の意識調査』を発表しました。なお、本調査は2018年から実施し、今回で3回目となります。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通りです。

《TOPICS》

- ▼ 初めてインターンシップに応募や申し込みをした時期について、「6月以前」と回答した学生は約8割。参加意欲の高さがうかがえる【図1】
- ▼ インターンシップの形式は「対面がいい」が44.8%、「対面・WEBどちらでも構わない」は38.5%【図2】
- ▼ インターンシップ先を選ぶ際に就職活動を「常に意識している」割合は75.2%で、年々上昇【図3】
- ▼ 在学中のインターンシップ平均希望参加社数は8.1社と前年より3.0pt増加【図4】

調査概要

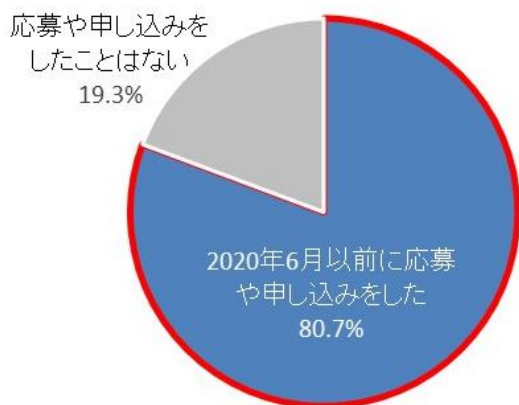
2022年卒大学生が初めてインターンシップに応募や申し込みをした時期について、2020年6月以前に申し込んだと回答した学生は80.7%であった（2020年3月以前、4月、5月、6月の合計）。約8割の学生が申し込みを済ませており、インターンシップへの参加意欲の高さがうかがえる。【図1】

インターンシップの形式について、WEBと対面どちらがよいか聞いたところ、「対面がいい」と回答した学生が最も多く44.8%で、「どちらでも構わない」と回答する学生は38.5%だった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除を受け、外出自粛の段階的緩和がステップ2に以降した6月19日以降に本調査を実施したこともあり、対面を望む声が多かった。一方で、「どちらでも構わない」「WEBがいい」という回答も一定数あり、外出自粛で授業のオンライン化等が進んだことも受け、学生の中ではWEB化へのハードルが下がっていることも見受けられる。【図2】

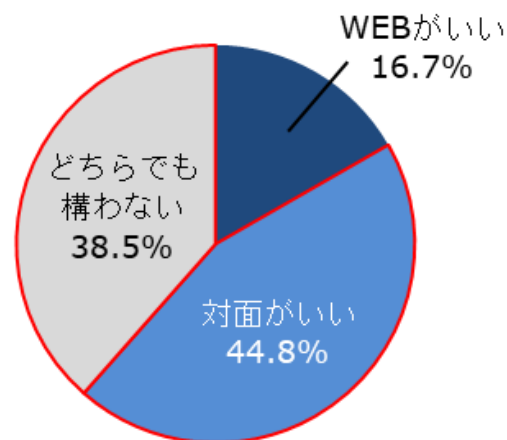
インターンシップ先を選ぶ際に就職活動を「常に意識している」割合は年々増加し75.2%（前年比6.4pt増）となった。現行のスケジュールに変更となって以来、志望先企業を検討する時間が短くなったため、インターンシップを通して志望先企業を見極めていくと推察される。【図3】

在学中のインターンシップ希望参加社数は平均8.1社となり、前年より3.0pt増加した。2020年卒の回答（4.2社）と比べると約2倍に伸びており、インターンシップ参加意欲が年々高まっていることがうかがえる。特に今年の調査では、新型コロナウイルス感染拡大の収束が不透明なことから、できるだけ多くのインターンシップに参加し、事前に情報を得たいと考えている学生も多いのではないか。【図4】

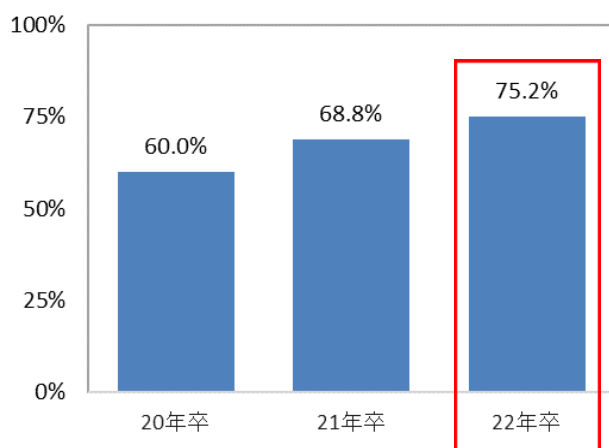
【図1】 インターンシップに応募や申し込みをした時期



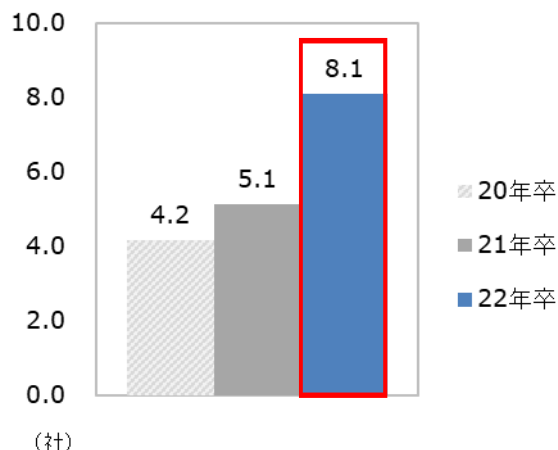
【図2】 インターンシップの形式について、WEBと対面のどちらの形式がよいか



【図3】 インターンシップ先を選ぶ際、就職活動を「常に意識している」割合



【図4】 在学中のインターンシップ希望参加社数（平均）単位：社



【調査概要】『マイナビ2022年卒大学生インターンシップ前の意識調査』

調査期間：2020年6月19日（金）～6月30日（火）
 調査方法：マイナビ2022の会員に対するWEBアンケート
 調査対象：2022年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生
 有効回答数：10,672名（内訳：文系男子1,877名、文系女子5,544名、理系男子1,442名、理系女子1,809名）

※調査結果の詳細は、会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 HR リサーチ部 小川
 Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145
 Email：myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部 石井
 Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050
 Email：koho@mynavi.jp